

市動物園

獣医師の仕事 子ら体験

治療器具や標本作り見学

子どもが動物園の仕事体験するイベントが16日、京都市左京区の市動物園で開かれた。子どもたちが園のバックヤードに入り、動物の健康を支える獣医師の仕事を学んだ。

ハローワーク西陣がキャリア教育として初めて企画した。小学生の親子連れ9組が参加し、100種500頭もの動物を担当する園の獣医師から話を聞いた。

子どもたちは獣医師と、診察室や解剖室を見学。動物のサイズに合わせた手作りの治療器具や、トラの頭骨を煮て標本を作る様子を見て回った。古い消防ホースを使い、動物が餌を取り出して楽しむ。



動物園の獣医師から卵の標本の説明を受ける子どもら(京都市左京区・市動物園)

給餌装置「フイダー」制作も体験した。

(井上真央)